

文化発信拠点の歴史回顧

中区 万年橋パークビル きょうから展示

「ただの駐車場じゃない」

浜松市中区の静岡文化芸術大の学生有志が19日から、同区田町のゆりの木通り商店街に立地する駐車場「万年橋パークビル」や同商店街で行われたイベントの歴史を振り返る展示会を、同ビル1階のコミュニティスペース「黒板とキッチン」と6階のフリースペー



展示会に向け、掲示作業に汗を流す学生

浜松市中区

18日夜は学生たちが準備作業に追われた。

展示のテーマは「空間の力」。万年橋パークビルを拠点に始まった「ナイトブティック」「手作りバザール」など数々のイベントを紹介するほか、活動を支えた市民へのインタビュー記事も掲示する。

同ビルと地元の学生とのつながりは長く、多彩な団体が意見交換や活動の発表の場として利用してきた。2014年には、駐車場上層階の一角で同大の学生劇団が公演を行うなど、文化芸術分野の発

信拠点としての役割も担ってきた。今月末で学生が使用していた6階フリースペースが終了することから、今回の企画が始動した。展示会の代表者で、

同大2年の福井健吾さんは「ただの駐車場ではないこの場所の魅力を、来場する皆さんに伝えたい」と意気込みを語った。

(浜松総局・足立健太郎)